

2023年4月26日
東京電力ホールディング株式会社
福島復興本社

「福島復興への責任を果たすために」

～ 福島復興へ向けた取り組み ～

The logo for TEPCO (Tokyo Electric Power Company) is displayed in a bold, red, sans-serif font. The letters 'T', 'E', 'P', 'C', and 'O' are all in red and connected together.

〔第16版〕

目次・本資料(写真集)について

1. 福島復興本社について〔福島復興本社代表あいさつ、組織体制〕	2
2. 福島復興本社の歩み	3
3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向	4～6
4. 福島復興本社の2023年度の主な取り組み予定	7
5. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生・復興推進活動】	8
6. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生活動】	9～13
7. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】	14～19
8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】	20～32
9. 原子力損害賠償に関する取り組みの概要	33
10. 雇用創出等福島復興に資する取り組み	34～36
11. 東京電力廃炉資料館	37～38
12. 福島復興へ向けた活動実績	39～41
(参考) 福島復興へ向けた取り組み“アーカイブページ”のご案内	42～43

本資料(写真集)について

本資料は、福島復興本社設置(2013年1月)以降、代表定例会見等でお知らせしている各取り組みについて改めてとりまとめました。掲載内容は、ある程度コンパクトに編集しておりますので、本資料の最後にご案内しております当社HPからも是非ご覧ください。

1. 福島復興本社について

福島復興本社代表あいさつ



福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所の事故から12年余りが経過しました。今もなお、発電所周辺地域の皆さま、福島県の皆さま、そして広く社会の皆さまに大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

昨年、葛尾村・大熊町・双葉町で特定復興再生拠点区域の避難指示が解除され、今春には浪江町・富岡町につづき、飯館村において避難指示の解除が予定されています。

復興のステージが進んでいく一方で、未だに多くの方が避難生活を強いられており、ご帰還を躊躇されている方やご帰還が叶わない方も多くいらっしゃいます。

そのような中で、地域の皆さまに寄り添ったきめ細かい取り組みがより一層重要となります。地域の皆さまの声を謙虚に伺い、一つひとつの行動を積み重ね、信頼の回復に向けて福島復興本社の総力を挙げて取り組んでまいります。

事故からどれだけ年月が経とうとも、当社が「福島への責任」を果たすために存続を許された会社であることは、些かも変わることはありません。これからも「復興と廃炉」の両立に向け、全力を尽くしてまいります。

2023年4月

福島復興本社代表 高原 一嘉

福島復興本社の組織体制

福島本部

主な業務：各所と連携した地域対応、廃炉資料館の運営、復興本社代表補佐
設置箇所：双葉町（双葉町産業交流センター・総括箇所）、富岡町、福島市

主な業務：国、自治体と連携した復興本社の施策立案、諸計画策定、地域のみなさまからのご要望への対応策の立案
設置箇所：東京（統括箇所）、双葉町（双葉町産業交流センター）等

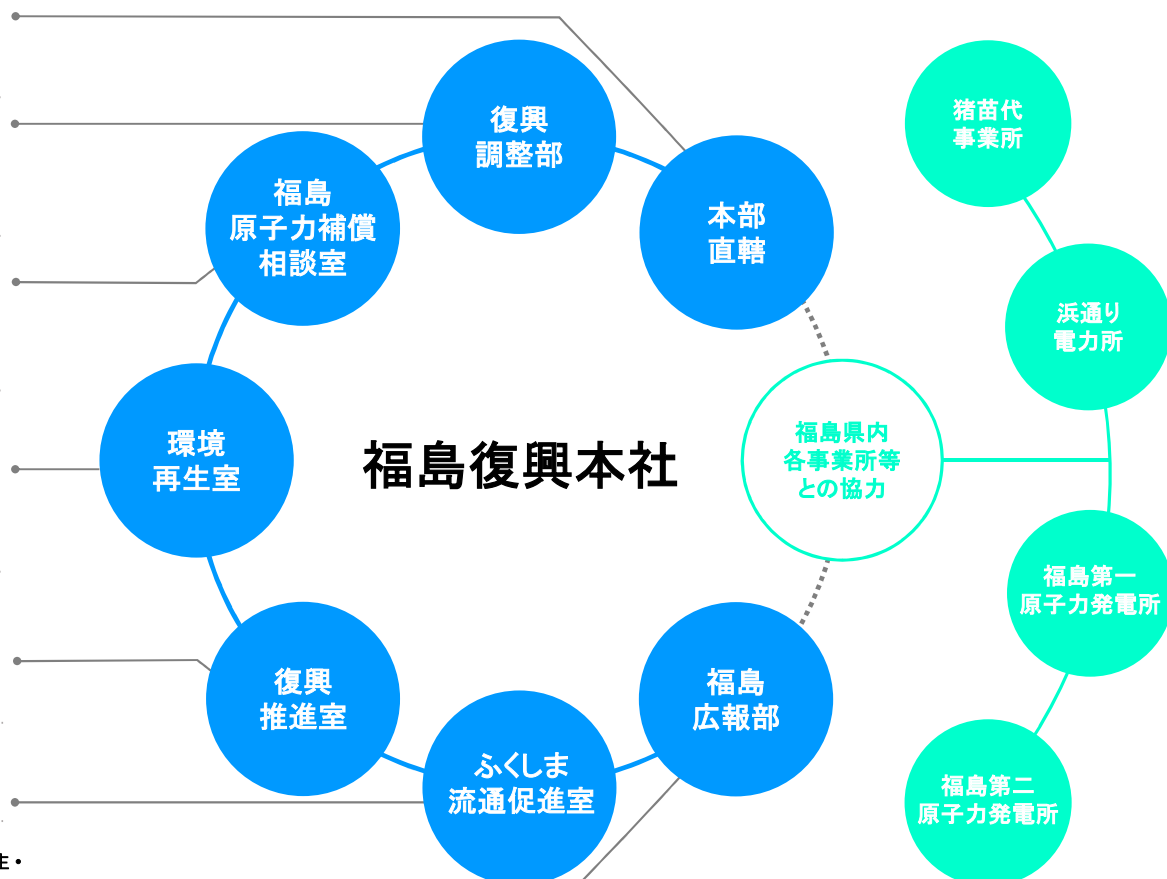
主な業務：賠償業務（円滑かつ早期の貫徹）
設置箇所：いわき市（総括箇所）、福島市、郡山市、会津若松市、南相馬市、仙台市等

主な業務：環境再生業務（国・自治体の実施する除染・中間貯蔵・廃棄物事業の推進、農林業再生、リスクコミュニケーション、再エネ施策に関わる支援）
設置箇所：福島市（総括箇所）、双葉町（双葉町産業交流センター）、富岡町等

主な業務：復興推進業務（帰還や地域復興を実現するための取り組み）
設置箇所：富岡町（総括箇所）、双葉町（双葉町産業交流センター）、浪江町、楢葉町、南相馬市等

主な業務：福島県産品の販路開拓・購入促進に向けた取り組み
設置箇所：東京、福島市

主な業務：広報業務（県内の原子力・火力・水力発電所ならびに賠償・環境再生・復興推進の状況の広報活動等）
設置箇所：福島市（総括箇所）、双葉町（双葉町産業交流センター）



2023年4月1日時点

2. 福島復興本社の歩み

- 2011年3月31日“福島原子力被災者支援対策本部”を設置しました。
- 2013年1月に上記を改編し、“福島復興本社”を設置以降、一層地元に着目して福島復興の責任を全うし、地域に貢献するため活動しております。



- 2013年1月1日に福島県双葉郡の“Jヴィレッジ”に福島復興本社を設置
- 当社復興推進業務等の拠点であると同時に、廃炉作業の前線基地としても使用



- 2016年3月7日より、福島県双葉郡富岡町にある当社基幹事業会社、東京電力パワーグリッド株式会社の“浜通り電力所内”に移転
- 避難指示解除や地域の皆さまの帰還に先駆け移転し活動を開始



(関係施設)アーカイブ施設の設置

- 2018年11月30日、福島県双葉郡富岡町にある当社エネルギー館を改装し、“東京電力廃炉資料館”を開館
- 福島第一原子力発電所事故の記憶と記録・反省と教訓そして廃炉事業の現状などを社内外に伝承することを目的に設置



- 2020年10月26日より、福島県双葉郡双葉町の“双葉町産業交流センター”へ移転

地域の復興・帰還に先立ち、浜通り地域に機能・要員を集中



3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向

【凡例】 ● 環境再生活動 ● 復興推進活動 ● 流通促進活動 ● 廃炉関連 ● その他(復興へ向けた取り組み等)

	避難指示区域の解除 ※帰還困難区域を除く	福島県内における 主な出来事	福島県内における主な当社関連の動向
2011	3月	東日本大震災・福島第一原子力発電所事故	
	3月		福島原子力被災者支援対策本部の設置
	4月		仮払い補償開始
	8月		● 「走行モニタリング」開始
	9月		本賠償開始
	11月		● 福島県産品販売会の開始(社内) ※社外は2013年9月から開始
	12月		● 中長期ロードマップ策定
2012	7月	国直轄地域の除染開始	復興本社移転は P.3参照
	11月		● 常磐自動車道路除染工事に対応
2013	1月		福島復興本社の設置(J ヴィレッジ)
	5月		● 福島県外からの社員派遣開始
	6月	 	● 入退域管理施設移転 (Jヴィレッジ→福島第一原子力発電所)
2014	1月		新・総合特別事業計画認定
	4月	田村市都路地区	・原子力損害賠償「3つの誓い」 ・除染推進「国が実施する除染作業の加速化への協力」 ・産業基盤や雇用機会の創出
	10月	川内村の一部	
	11月		● ふくしま応援企業ネットワーク発足
	12月		● 4号機使用済燃料取り出し完了
2015	3月	常磐自動車道全線開通 除染土壌等の輸送開始	
	4月		福島給食センター運用開始 (大熊町)
	5月		● 帰還後の安心に向けた施策に対応
	6月		● 「見回り活動」開始
	8月		● 避難指示解除前後の地域イベントに対応
	9月	楢葉町	
10月		● 海側遮水壁の完成	
2016	3月		福島復興本社移転 (富岡町浜通り電力所)
	4月		HDカンパニー制移行
	6月	葛尾村・川内村	● 除染土壌等の輸送への技術支援に対応
	7月	南相馬市	
	8月		● 勿来IGCCパワー合同会社、広野IGCCパワー合同会社の設立

3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向

【凡例】 ● 環境再生活動 ● 復興推進活動 ● 流通促進活動 ● 廃炉関連 ● その他(復興へ向けた取り組み等)

	避難指示区域の解除 ※帰還困難区域を除く	福島県内における 主な出来事	福島県内における主な当社関連の動向
2017	1月		● 楡葉町「天神原湿原」再生・保全に対応
	3月	川俣町・浪江町・飯舘村	● 福島送電の設立、新福島変電所の設備改修工事竣工
	4月	富岡町	面的除染完了(国直轄) ● サツマイモ栽培・収穫等に協力(楡葉町)
	5月		福島復興再生特措法の改正 新々・総合特別事業計画認定
	8月		● 仮置場の原状回復に向け対応
	12月		● 特定復興再生拠点区域除染工事に対応
			 <p>新福島変電所(富岡町)</p> 
2018	2月		● Fukushima流通促進室の設置
	3月	全ての面的除染完了(帰還困難区域を除く)	
	4月		● 陸側遮水壁の運転開始
	5月		● 緑肥栽培試験の実施(農地の地力回復等)
	8月		● 一般作業服エリア拡大(敷地内約96%)
	10月		● LINE「ふくしま応援隊」を開設
	11月		● 「発見！ふくしま」キャンペーンを年1回開催 ● 廃炉資料館の設置
			 
2019	2月		● 2号機原子炉内部調査(デブリ確認)
	4月	大熊町	Jヴィレッジ全面再開
	7月		福島第二原子力発電所の廃炉決定
	10~12月		● 台風19号・豪雨発生後の地域へ協力
			● LINE「ふくしま応援隊」友だち登録数が100万人到達
2020	2月		● 新型コロナの影響で県外からの復興推進活動への派遣中断
	3月	双葉町 特定復興再生拠点区域の一部※ (大熊町・双葉町・富岡町) ※帰還困難区域内	JR常磐線全線再開
	5月		● 葡萄圃場整備等に協力(川内村)
	7月		● 福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局の設置
	9月		東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町)の開所
			福島復興本社の移転(双葉町 双葉町産業交流センター)
10月			● 浜通り廃炉産業プロジェクト室の設置

3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向

【凡例】 ● 環境再生活動 ● 復興推進活動 ● 流通促進活動 ● 廃炉関連 ● その他(復興へ向けた取り組み等)

	避難指示区域の解除 ※帰還困難区域を除く	福島県内における 主な出来事	福島県内における主な当社関連の動向
2021	4月		● 処理水海洋放出の政府方針決定 (以降、当社会見、関係自治体等への説明開始)
	7月	とみおかアーカイブ・ミュージアムの開館 	FIT制度適用に伴い得られた収益の一部拠出開始 (猪苗代水系、中小経年水力発電所設備改修) ● ● 福島復興へ向けた活動実績 累計100万人到達(7/21)
	8月		第四次総合特別事業計画認定 ● JA全農福島様による2カ国大使館への「福島県産の桃」の贈呈
	10月	震災遺構浪江町請戸小学校開館 ※以下、特定復興再生拠点区域	● 除染推進室から「環境再生室」への名称変更
	11月	葛尾村 準備宿泊開始	● ● 準備宿泊に向けた生活基盤整備のお手伝い
	12月	大熊町 準備宿泊開始	● 地質調査開始(海上ボーリング調査)
	2022	1月	双葉町 準備宿泊開始
2月			● 1号機原子炉格納容器内部調査開始
3月		除染土壌等の輸送完了(96%)	
4月		富岡町 準備宿泊開始	● ● 準備宿泊開始に伴う地域の見回り活動 (葛尾村、大熊町、双葉町、富岡町)
6月		葛尾村 大熊町	● ● 個人線量計の貸し出し、測定結果分析・報告(葛尾村)
8月		双葉町 	● JA全農福島様によるオーストラリア・ドミニカ共和国大使館への「福島県産の桃」の贈呈
9月		浪江町準備宿泊開始 飯館村準備宿泊開始	● 【海外での流通促進の取り組み】 8月タイ(福島県産桃のイベント) 10月ベトナム(梨のイベント)
10月		JR只見線全線運転再開 	11月シンガポール(福島県産品と日本酒のイベント)
12月			1月アメリカ(福島県産米の出品) 2月タイ(福島県産食材のPR) 3月アメリカ(福島県産米イベント) ALPS処理水の放出に伴い風評被害が発生した場合の賠償基準を公表
2023		1月	
	3月	浪江町	中間指針第五次追補を踏まえた追加の賠償基準の公表
	4月	富岡町	

4. 福島復興本社の2023年度の主な取り組み予定

2023年

■ : 環境再生活動 ■ : 復興推進活動 ■ : 流通促進活動 ■ : その他活動 ★ : 避難指示解除に向けた動き

春

- ■ 特定復興再生拠点区域（以下「拠点区域」という）の避難指示が解除された地域などでの生活基盤整備のお手伝い ※年間を通して実施予定
- 放射性物質汚染対処特措法に則り国・自治体を実施する除染、中間貯蔵、廃棄物・リサイクル等に係わる事業の人的・技術的協力 ※年間を通して実施予定

★ 3月 浪江町 拠点区域避難指示解除

★ 4月 富岡町 拠点区域避難指示解除

- 春の地域イベントのお手伝い
〔 4/9春の坂下ダムウォーキング、4/8-4/9 富岡桜まつり2023 〕

■ 「発見！ふくしま」春の販売イベント

- 4/14～16 パエリア・タパス祭り2023（東京都）でのキッチンカーやブース出店
- 4/22～23 ニッポン放送ラジオパーク（東京都）でのキッチンカー出店
- 5/20～21 海の幸まつり in 道の駅ふくしま（福島県）常磐ものPR

★ 5月 飯舘村 拠点区域避難指示解除予定

- 雑草抑制・景観向上のためのカバープランツ共同調査（浪江町）

夏

- 「発見！ふくしま」ふくしまの桃の販売会（7月～9月）
- 夏の地域イベントのお手伝い
- お盆・お彼岸に向けた墓地除草のお手伝い

秋

- 「発見！ふくしま」キャンペーン（10月～12月）
- ■ 営農再開に向けたお手伝い
- 秋の地域イベントのお手伝い

2024年

冬

- 「発見！ふくしま」新年の福袋販売イベント
- 新年の地域イベントのお手伝い



カバープランツ共同調査



ふくしまの桃販売



「発見！ふくしま」キャンペーン



地域の特産品づくり



地域イベントへ当社ブース出展

福島のために何が出来るかをこれからも考え続け、「福島への責任の貫徹」を胸に社員一丸となってその使命を果たしてまいります。

5. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生・復興推進活動】

特定復興再生拠点区域の避難指示解除に向けた取り組み

取組内容

- 2022年6月に葛尾村・大熊町、8月には双葉町、2023年3月に浪江町、4月に富岡町で特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されました。
- 当社は、避難指示が解除された地域を中心に少しでも安心してご帰還いただくため、お手伝いを継続してまいります。



特定復興再生拠点区域における当社の取り組み状況



浪江町

除染前後のモニタリング



大熊町

屋内片付けのお手伝い



双葉町

進入路除草のお手伝い



富岡町

見回り活動※(お声掛け)

※ 見回り活動：当社が町村内を巡回し地域の方々にお声がけし、除草や片付けなどのお手伝いを実施

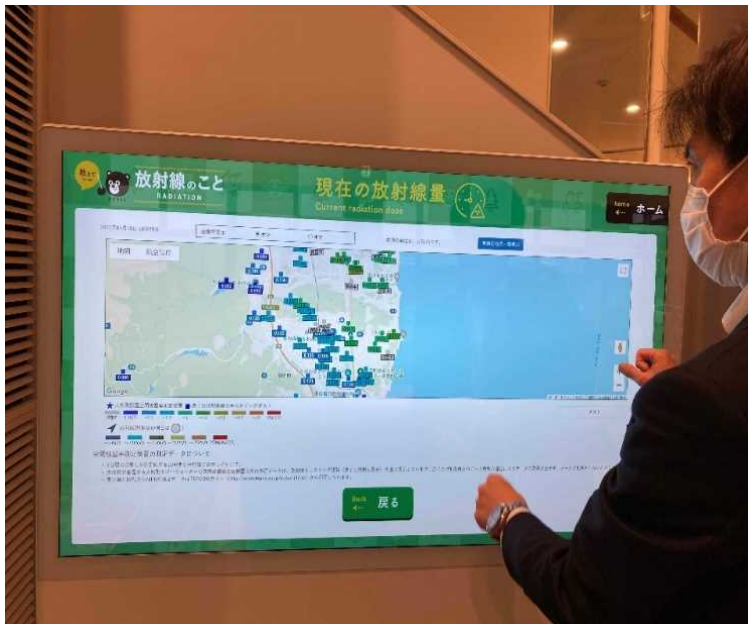
6. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生活動】

「大熊町環境情報サイネージ」コンテンツリニューアルの協力

取組内容

- 大熊町が管理する「大熊町環境情報サイネージ(電子掲示板)※」のコンテンツリニューアルに向け、当社は「放射性物質と放射能」、「除染」の新たなコンテンツの作成を行いました。
- 当社はこれまでの知見を活かしながら関係者の皆さまと協力し、町が取り組む情報発信や放射線に関する理解活動を継続的に実施しています。

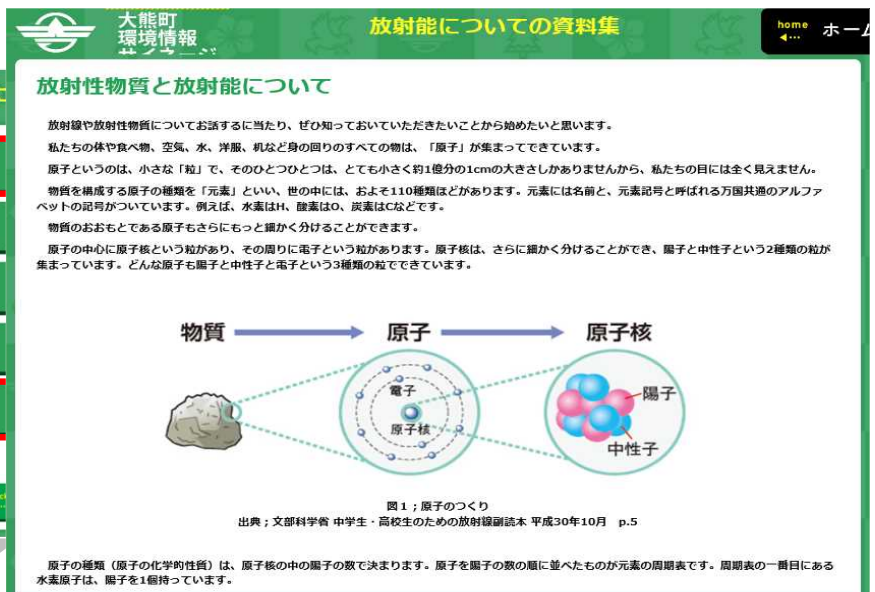
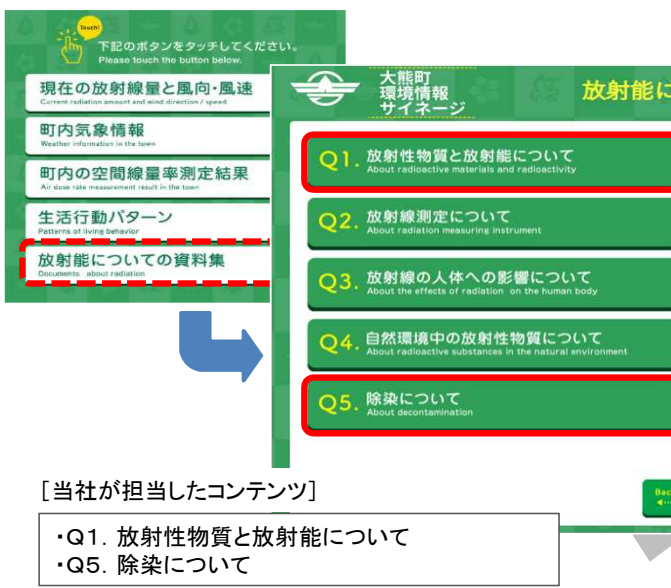
※「大熊町環境情報サイネージ」・町内に設置されたモニタリングポストの測定値や放射線関連のコンテンツを表示し、環境放射線の状況をお伝えするタッチパネル式の電子掲示板



大熊町役場内1階ロビー【2019年12月設置】



JR大野駅舎内2階待合所【2020年8月設置】



コンテンツリニューアル メニュー画面【2022年4月1日】

- 2022年4月1日にコンテンツがリニューアルされ、放射能についての資料集が更に充実されました。この情報は大熊町さまのHPでもご覧いただくことができます。

6. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生活動】

葛尾村 避難指示解除に向けたお手伝い

取組内容

- 2021年11月の葛尾村の準備宿泊開始に伴い、当社保有の個人線量計の貸し出しを実施しました。
- 2022年3月、住民の皆さまの個人線量計のデータ分析を行い、測定結果を葛尾村へ報告しました。

個人線量計の貸し出しと報告の対応

- 貸出日：2021年12月8日（3台）
- 貸出期間：2021年12月8日～2022年6月

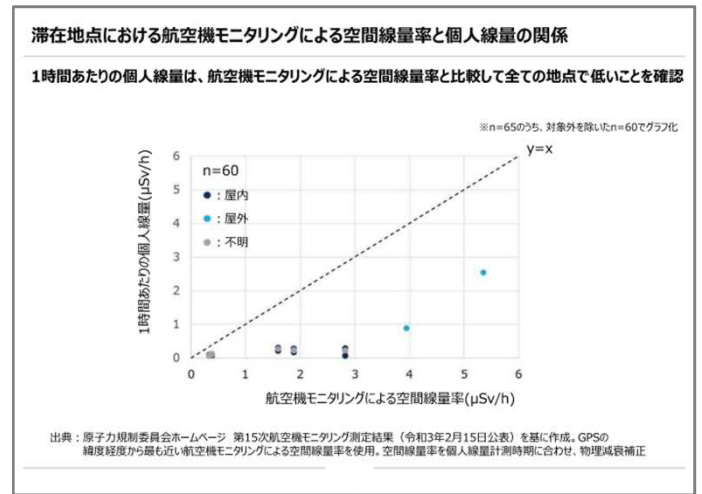
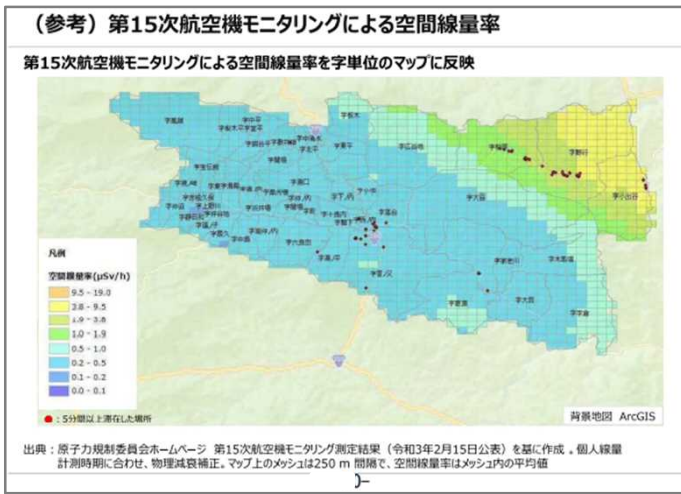


- ・当社保有の個人線量計(GPS含む)について、準備宿泊を希望される住民の方へ貸出。
- ・住民説明会の開催に合わせ、当社で測定結果の取り纏めを行い、測定結果報告書を葛尾村へ提出。

葛尾村による住民説明会の内容

- 2022年5月15日、葛尾村の避難指示解除に向けた住民説明会で、「測定結果から一日および年間の積算線量の推定値を算出しても、国の避難指示解除の基準を十分に下回る低い値であること」を葛尾村が説明しました。

< 第3回除染検証委員会資料(抜粋) >



< 参考: 過去の当社社員による測定結果 >

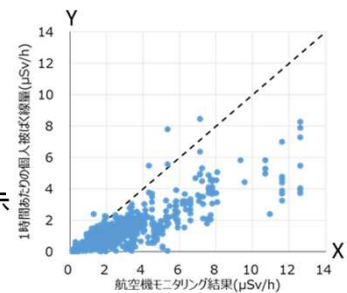
出典: 葛尾村HP 第3回除染検証委員会について
<https://www.katsurao.org/soshiki/21/josenkenshou3.html>

個人線量計の測定結果と航空機モニタリングの関係について

計測した範囲において、1時間あたりの個人被ばく線量のデータのほとんどは、航空機モニタリング結果と比較して下回っていることを浜通り地域で確認

- : 2020.3～2021.1における当社社員401人分の個人被ばく線量データのうち、同じ場所に5分以上滞在したと判断できるデータ数(n=2,115)
- : 1時間あたりの個人被ばく線量(Y)と航空機モニタリング結果(X)が同じ値となるラインを破線にて表示

個人線量計にて計測した「1時間あたりの個人被ばく線量」を縦軸(Y)とし、同じ場所の「航空機モニタリング結果」の関係を横軸(X)として、グラフに示す



- 個人線量計の測定結果では、実際の生活圏における個人線量は、比較的線量の高い山林などの影響が少ないため、航空機モニタリングよりも小さくなることを示しています。
- 今後も福島県内の個人被ばく線量の実態を詳細に把握しお伝えすることで、地域の皆さまのご不安解消に繋がるよう取り組んでまいります。

6. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生活動】

雑草抑制・景観向上のためのカバープランツ共同調査

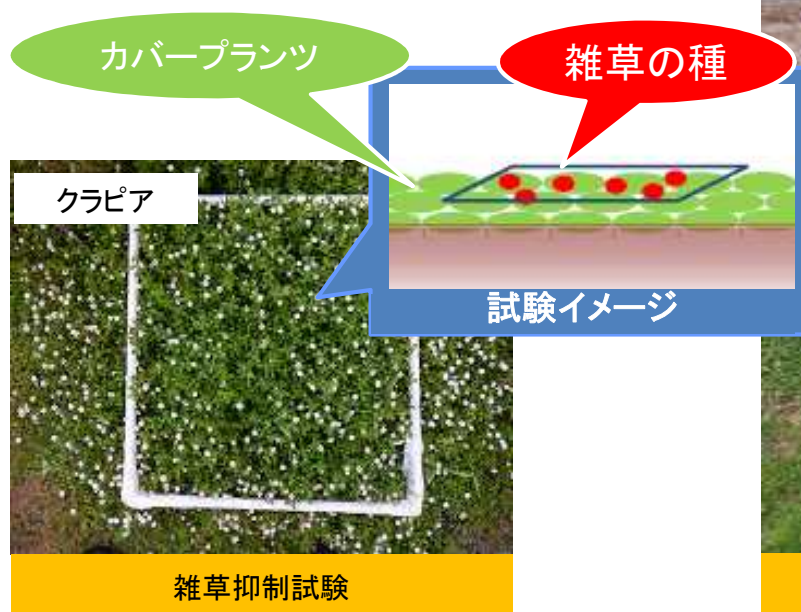
取組内容

- 2020年10月より、浪江町と共同で13品種のカバープランツ※1による「雑草抑制効果」「景観向上効果」の調査を開始しました。
- 2021年9月からは、11品種について越冬による生育状況の確認を行いました。このうちの4品種※2において越冬後の生育状況や景観も良好なことが確認でき、地表を覆うグランドカバーとして期待できることが分かりました。
- 2022年9月よりこれまでの生育状況調査から絞り込んだ4品種について、繁茂させた場所に雑草の種をまき、雑草の繁殖が抑制されるか確認しております。

※1「カバープランツ」

地表を覆うように生育する植物の総称で、茎や枝を横に伸ばして地面などを低く薄く覆うため、土壌の乾燥や土の流出、雑草を防ぐ効果があり、庭園・公園・造園・園芸に広く用いられる植物

※2 4品種：パースフットレフォイル、クラピア、クリーピングタイム、ロンギカウリスタイム



- 今後も地域の景観向上などの取り組みを拡大し、住民の皆さまの帰還促進の一助となるよう、地域に根差した活動を行ってまいります。

6. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生活動】

大熊町における営農再開に向けた取り組み

取組内容

- ▶ 大熊町のご依頼により、町の営農再開に向けた取り組みとして、サツマイモ栽培のお手伝いを4月の農地整備から10月の収穫まで行いました。
- ▶ また、今後の出荷制限解除に向けて、水稻の試験栽培のお手伝いを行いました。



肥料散布【2022年4月】



収穫前準備(つる切り)
【2022年10月】



サツマイモの収穫【2022年10月】



水田へ獣害対策用の金網設置【2022年5月】



稲刈り【2022年10月】

- 収穫したサツマイモは、大熊町で開催されたイベントの来場者に無料で配られました。また、水稻の試験栽培は、2022年の検査で問題がなかったため、2023年からは実証栽培に切り替える方針と伺っております。
- 今後も大熊町のご要望をお伺いしながら、さまざまな取り組みを通じてご帰還された住民の皆さまの営農再開の一助となれるよう取り組んでまいります。

6. 福島復興へ向けた取り組み 【環境再生活動】

浪江町内における除染対応

取組内容

- 環境省から要請をいただき、2022年8月～11月に浪江町内において、除染作業に伴うモニタリング等を実施しました。



除染前のモニタリングの様子



除染範囲を確認するための試掘作業の様子

- 浪江町の特定復興再生拠点区域では、2022年9月1日に準備宿泊が開始され、2023年3月31日に避難指示が解除されました。
- お戻りになれる住民の皆さまが少しでも安心して生活できるよう、様々な除染に関わる要請に対し人的・技術的協力をしてまいります。

7. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

春・夏の取り組み～各地域イベントのお手伝い～

取組内容

- 富岡町では、春の恒例イベントが開催され、当社は、会場受付や来場者誘導などのお手伝いを行いました。また、復興推進活動を紹介するブースを出展しました。
- 南相馬市では、夏の風物詩である相馬野馬追が3年ぶりに通常開催され、当社はイベント運営のお手伝いを行いました。また、お行列にも参加させていただきました。

富岡町「富岡町桜まつり2022」【2022年4月9日（土）・10日（日）】



夜の森桜のトンネル



復興推進活動のご紹介

南相馬市「相馬野馬追」【2022年7月23日（土）～25日（月）】



お行列へ参加



火の祭の準備

- 地域イベントをきっかけに、地域コミュニティが活性化され、交流人口の拡大に向けた取り組みに少しでもご協力できるよう、活動を続けてまいります。

7. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

お盆・お彼岸時期の取り組み～除草専門チームによる除草のお手伝い～

取組内容

- 当社は除草の経験豊富なメンバーを集めた「除草専門チーム」を組織し、ご依頼が集中するお盆の時期を中心に活動を行いました。
- お盆時期などに帰省される皆さまが安全にお墓参りできるように墓地構内や周辺の除草を行いました。また、より安全かつ効率的に作業を進める手法の検証も行っております。



墓地構内の除草



墓地構内の除草



TBM-KYの様子



刈草集積の様子

- 検証した内容を取り入れながら、今後も地域の皆さまのご依頼にしっかりと応えできるよう取り組んでまいります。

7. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

教育施設等にかかわる取り組み・伝統行事のお手伝い

取組内容

- 学校の授業に合わせたプール清掃や、生徒や地域の皆さまと一緒に通学路に花を植えるお手伝いを行いました。
- 川俣町八坂神社秋季例大祭・檜葉町大瀧神社例大祭に向けたお手伝いを行いました。



中学校プール清掃



通学路の花植え



八坂神社秋季例大祭 千本切作成



大瀧神社の清掃

- 学校運営における季節に応じたお手伝いや環境美化に関する活動の他、伝統ある地域行事に地域の皆さまと一緒に関わらせていただきました。こうした取り組みが地域の賑わいや復興に繋がるようお手伝いを続けてまいります。

7. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

新たな特産品づくりに向けた営農活動のお手伝い

取組内容

- ▶ 地域の皆さまのご要望をお伺いしながら、地域の状況に応じた取り組みとして、復興の進む地域では「地域の特産品づくり」のお手伝いを行いました。
- ▶ 当社は、これまでの活動で培ったノウハウや経験を活かして、春先の準備から収穫まで1年を通してお手伝いを行いました。

楡葉町 さつまいも栽培支援



マルチシート剥がし作業



収穫作業

川内村 葡萄栽培支援



実った葡萄(メルロー)



防鳥ネットの回収

- 楡葉町では、2020年12月に「楡葉町甘藷生産部会」が設立、川内村では、2020年6月に「かわうちワイナリー」が開所され、2021年に続き収穫までのお手伝いを行いました。
- 今後も地域の「特産品づくり」のお手伝いを継続してまいります。

7. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

秋の取り組み～各地域イベントのお手伝い～

取組内容

- 秋空の下「秋の実りを祝うイベント」などが各地で開催され、会場は多くの来場者で賑わいを見せておりました。
- 当社は、イベント会場の準備や車両誘導などの運営のお手伝いを行いました。また、復興推進活動の紹介や廃炉ロボットを展示したブースを出展しました。

川内村「かわうち祭り～秋の陣～」【2022年11月6日（日）】



川内村

イベント会場の様子

富岡町「えびす講市」 【2022年11月12日（土）】



富岡町

車両誘導のお手伝い

浪江町「浪江町十日市祭」 【2022年11月19日（土）】



浪江町

廃炉ロボット実演

- 新型コロナが多少落ち着きを見せ、コロナ感染対策に十分配慮されながら、各地域イベントが再開されました。
- 地域の皆さまや自治体のご要望をお伺いしながら、一人でも多くの方のご帰還につながるよう、継続して取り組んでまいります。

7. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

冬の取り組み～各地域イベントのお手伝い～

取組内容

- 大熊町・双葉町では新年イベントが開催され、当社は車両誘導や受付などのイベント運営のお手伝いを行いました。
- 大熊町では、地域の復興に携わる方々が一体となった「おおくまコミュニティづく実行委員会」に当社社員も参加させていただきました。
- 双葉町ダルマ市は、12年ぶりに町内で開催されました。当社は駐車場のライン引きなどのお手伝いを行い、また、復興推進活動を紹介するブースを出展しました。

大熊町「里がえり 餅つき大会」【2023年1月8日（日）】



実行委員として参画(餅つき・検温の様子)

双葉町「双葉町ダルマ市」【2023年1月7日（土）～8日（日）】



駐車場ライン引きのお手伝い



ダルマ神輿の様子

- 一人でも多くの住民の皆さまのご帰還につながるよう、これからも皆さまのご要望をお伺いし、地域コミュニティづくりのお手伝いをさせていただきます。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



百貨店やスーパー等での「ふくしまフェア」 定期開催

取組内容

- 首都圏の百貨店にて、福島県産の水産品、牛肉、お米、桃などの販売促進イベントやフェアを開催し、福島県産品の美味しさや魅力をお伝えしました。
- 2022年度開催実績： 延べ11,709日（2023年3月末時点）

水産品の販売催事



シアル横浜様の様子【2022年8月】



東武宇都宮百貨店様の様子【2023年1月】

牛肉の販売催事



マルエツ四季の森フィレオ店様の様子【2023年2月】



小田急ハルク様の様子【2022年2月】

- ふくしまフェアの開催回数は、年を重ねるごとに増えてきており、催事をとおして福島県産品の美味しさを知り、リピート購入されるお客様も増えてきております。引き続き、福島ファンの獲得に向けて取り組んでまいります。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



お米の販売催事



シャポー船橋様の様子【2022年10月】



クイーンズ伊勢丹北浦和店様の様子【2022年11月】

桃の販売催事



小田急新宿店様の様子【2022年8月】



大丸東京店様の様子【2022年7月】

Topics

昨年に引き続き、「東京2020オリンピック」で話題となった「福島県産の桃」を、JA全農福島様がドミニカ共和国とオーストラリア大使館へ贈呈いたしました。
※贈呈にあたり、当社が大使館との調整をさせていただきました。



ドミニカ共和国大使館への贈呈の様子2022年7月



オーストラリア大使館への贈呈の様子2022年8月

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



キッチンカー出店やマルシェの開催

取組内容

- 首都圏各地でキッチンカーを出店し、福島県産食材を使用した特別メニューを提供しました。また、マルシェを開催し、福島県産品の美味しさや魅力を直接PRしました。
- キッチンカー実績: 32,735食販売(2023年3月末時点)



キッチンカーの出店



味の素スタジアムでの様子【2022年12月】



鉄鋼ビルでの様子【2023年2月】



肉厚あんこうと会津味噌タルタルの究極フィッシュバーガー



常磐ヤリイカパッタイ



ふくしまチーズブリーダー
常盤ものカレー、麓山高原豚



ふくしま酒造の酒粕ミルクプリン

マルシェの開催



新小岩駅での様子【2022年12月】



UR北砂5丁目団地での様子【2022年11月】

- キッチンカーは、駅前やオフィス街、団地などさまざまな場所で出店しており、利用者からは、最寄り駅や近所で福島県産品を味わえることを喜ぶ声など多数いただいております。
- 引き続き、キッチンカー・マルシェを活用して、首都圏各地で福島県産食材の美味しさをPRしてまいります。

8. 福島復興へ向けた取り組み 【流通促進活動】



桃のイベントの開催 (2022年7月23日~24日)

取組内容

- 二子玉川ライズガレリア(東京都世田谷区)にて、桃を中心とした福島県産品の販売イベントを開催しました。
- 会場では、フラダンスショーなどのステージイベントのほか、キッチンカーでは桃を使用したさまざまなメニューを販売しました。
- 桃の販売実績: 4,200個(2日間合計)



桃のイベントメイン会場の様子



キッチンカーの出店の様子



ふくしまの桃

- ご家族連れなど非常に多くの方々に「ふくしまの桃」を中心とした福島県産品の美味しさや魅力をお伝えしました。
- 「ふくしまの桃や福島県産品を都内で買って嬉しい」などの嬉しいお言葉をいただきました。

8. 福島復興へ向けた取り組み 【流通促進活動】



新米イベントの開催 (2022年11月19日~20日)

取組内容

- 二子玉川ライズギャラリー(東京都世田谷区)にて、福島県産新米のPRイベントを開催しました。
- 会場では、トークショーなどのステージイベントのほか、キッチンカーでは福島県産米を使用したメニューを販売しました。
- 販売実績: 3種類の南相馬米150kgとめっつけちゃん米80袋販売(2日間合計)



福島県産新米のPRイベントのメイン会場の様子



キッチンカーの出店風景とメニューの一部



福島県産新米とめっつけちゃん米の販売の様子

- 同会場で開催した7月の桃のイベントと同様に二子玉川を訪れた多くの方々に福島のお米をPRすることができました。
- 出店者様からは、「首都圏で福島県のお米を紹介できて嬉しい」などのお言葉をいただきました。

8. 福島復興へ向けた取り組み 【流通促進活動】



お魚まつりの開催(2022年11月17日~20日)

取組内容

- 日比谷公園(東京都千代田区)にて、「常磐もの」のPRイベントを開催しました。
- 9つのブースを出店し、「常磐もの」と福島県産米を使った18種類のメニューを販売しました。
- 実績: 来場者約17万2千人、販売食数約3万食(4日間合計)



当社ブースの様子



ノドグロ入りふくしま全部のせ丼



常磐もの極み握り



キッチンカーの様子



ステージの様子

- イベントで一番人気のあった「ノドグロ入りふくしま全部のせ丼」は、毎日昼過ぎには完売するほどの人気でした。
- また、東京すし和食調理専門学校様にご協力いただき、当社のキッチンカーで初めて「常磐もの」をネタとした握り寿司を販売しました。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



お魚まつりの開催(2023年2月23日~26日)

取組内容

- 代々木公園(東京都渋谷区)にて、「常磐もの」をPRするイベントを開催しました。
- 「常磐もの」の海鮮丼やアンコウのパエリアなど11ブースを出店し、約30種類のメニューを販売しました。
- 実績: 来場者約20万人、販売食数約3万4千食(4日間合計)



当社ブースの様子



常磐ものアンコウのパエリア



バドコロ入りふくしま全部のせ(奥)
カニ汁(手前)



開会式の様子



「福島県産」日本酒

- ご来場いただいた多くのお客さまに福島県産食材の美味しさをPRすることができました。

8. 福島復興へ向けた取り組み 【流通促進活動】



福島県内での販売促進への取り組み

取組内容

- 福島県内の各施設で「発見！ 福島」キャンペーンを開催しました。
- 県内事業者の皆さまと協力し、キッチンカー出店による「常磐もの」などを使ったメニュー提供や福島県産食材のマルシェを開催しました。
- 県内イベント開催実績： 全8回



「道の駅ふくしま」オープニングイベント



あづま総合運動公園「LIVE AZUMA 2022」



PLAY PARK FUKUSHIMA IN 四季の里



いわきワンダーファーム「ブイヤベースフェスタ」

- イベントは天候にも恵まれ、大変多くの方にお越しいただき、福島県産メニューを買い求めるお客さまの列も途切れることなく、大変好評でした。
- また、「発見！ 福島」公式キャラクターめっけちゃんも登場し、会場を盛り上げました。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



海外の販売促進への取り組み

取組内容

- 国内のみならず、海外の皆さまへも福島県産品の美味しさや魅力を発信するために海外での催事を開始しました。
- 実績： 海外4カ国で開催（2023年3月末時点）



タイ・バンコクでの桃の販売イベントの様子【2022年8月】



ベトナムでの梨の販売イベントの様子【2022年10月】



シンガポールでの日本酒試飲PRの様子【2022年11月】



アメリカでの福島県産米PRの様子【2023年1月】



タイ・バンコクでの福島牛の試食提供の様子【2023年2月】



アメリカでの福島県産米販売イベントの様子【2023年3月】

- 今後もさらに多くの国で福島県産品の販売促進イベントを積極的に展開し、福島県産品の美味しさや魅力を世界に発信してまいります。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



福島県産品オンラインサイト「ふくしま市場」でのキャンペーン開催

取組内容

- 福島県産品の通販サイトとして最大級の「ふくしま市場」と連携して、「春・夏」と「秋・冬」の2回購入促進キャンペーンを実施しました。
- 実績：「春・夏」約16,000点、「秋・冬」約11,100点販売

■ 春・夏キャンペーン【2022年6月1日～8月31日】

発見! ふくしま

「食べて脂ってふくしまの桃」

イッピンまつり 2022

開催期間 6/1(水)～8/31(水)

プレゼントキャンペーン

アンケートに答えて、応募された方の中から抽選でお好きな県産品が**1,000名様に当たる!**

応募締切: 7/15(金)17時まで

お買い物キャンペーン

福島県産品オンラインストア

ふくしま市場

最大 **30%OFF**

開催期間: 8/31(水)まで

■ 秋・冬キャンペーン【2022年11月1日～12月16日】

発見! ふくしま

「福」を願う、福島ギフト。

贈ろう食べよう

ふくしま秋の恵み 2022

「福」を願う、福島ギフト。

福島県産品オンラインストア

ふくしま市場

最大 **30%OFF**

開催期間 11/1(金)～12/16(木)

▶ 「ふくしまオリジナルおせち」30%OFF \好評販売中! /

▶ \同時開催 / お友達紹介プレゼントキャンペーン受付中!!

- 春・夏には「桃」、秋・冬には「新米」を中心に、「福島牛」や「水産品」など、日本全国のお客様から、多くの商品をお買い求めいただきました。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



ふくしま応援企業ネットワーク（2014年11月発足）

※当社が事務局を務める

取組内容

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催を見送っていた「現地視察会」を2年半ぶりに開催しました。
- 会員企業様によるキッチンカーや特食・ふくしま弁当の利用拡大、マルシェの開催やECサイトでの福島県産品の販売など様々な活動を実施しました。



レストランエフでの海鮮丼



伝承館、請戸小学校の視察の様子【2022年7月】



会員企業様敷地でのキッチンカー【鉄鋼ビルディング様】



社員食堂での特食【熊谷組様】

絶品！ふくしまブランドビーフ & ポークお試しキャンペーン
発見!ふくしま 定期便 OKNW会員企業限定

<p>3,000円引き!</p> <p>福島牛リーロースステーキ 400g(200g×2) 販売価格 ¥8,980 → ¥5,980(税・送料込)</p>	<p>3,000円引き!</p> <p>福島牛ヒレステーキ (限定20個) 350g(175g×2) 販売価格 ¥9,580 → ¥6,580(税・送料込)</p>	<p>2,000円引き!</p> <p>福島牛モモすき焼き用 400g 販売価格 ¥5,280 → ¥3,280(税・送料込)</p>
---	--	---

JAライフクリエイティブ福島様とコラボした「発見!ふくしま」定期便



オープンマルシェ【東京パワーテクノロジー様】

● 今後も更なる会員企業様の拡大に向けて、様々な活動に取り組んでまいります。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



福島県産品の取り扱い量拡大に向けた理解活動

取組内容

- 首都圏の流通関係者や小売・飲食店関係者の方々を中心に、福島県産食材の安全性と美味しさや魅力をお伝えする対話活動や、希望者を対象とした福島県内での「視察会」を実施しました。
- 開催実績 2021年からスタートし、約100回開催、500名参加

意見交換風景【2022年度】



ドミニカ共和国大使館との対話活動の様子
海外の方にもご参加いただいております



首都圏の飲食店で開催



「常盤もの」の試食



アンケート回答の様子
たくさんのご意見をいただいております

現地視察会風景【2022年6月】



相馬市原釜港視察



東京電力廃炉資料館視察

- 引き続き、対話に加えて、実際に見て、味わっていただくことにより、福島県産食材の良さを実感いただく理解活動を進めてまいります。

8. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】

社内における福島県産品販売促進活動

取組内容

- 社員一人ひとりの福島県産品の購入促進に向けて、各事業所で福島県産品の社内販売会を実施しています。
- 2022年度は、福島県産品と宮城県産品の合同販売会を初めて実施しました。



本社「福島・宮城県産品販売会」の様子



EP本社の販売の様子



PG成田支社の販売の様子

- 2021年度はコロナ禍により、入室人数の制限や事前予約制での開催となりましたが、2022年度は多くの事業所で感染防止対策を徹底し、対面での販売会を再開しました。
- 販売会では、酒、米、野菜、果物、魚介類、肉、麺類、加工品、菓子類など、さまざまな県産品を販売しました。

9. 原子力損害賠償に関する取り組みの概要

迅速かつ適切な原子力損害賠償に向けた組織体制

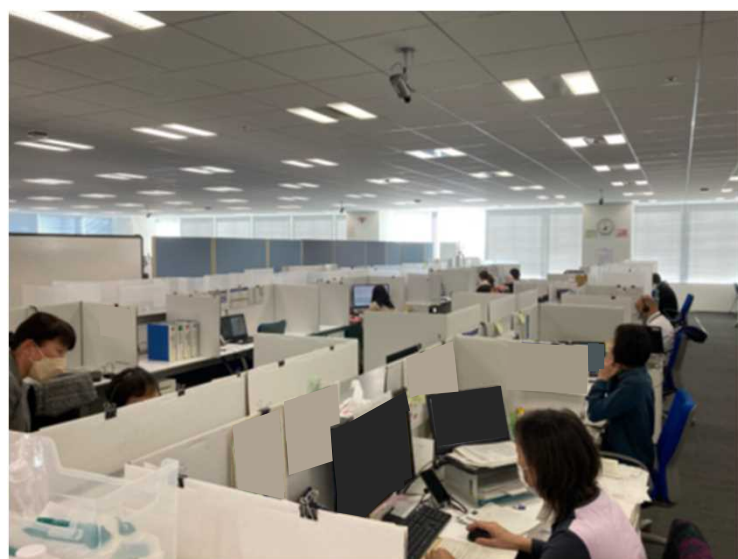
- 引き続き「3つの誓い」を徹底し、被害者の方々により丁寧に対応しながら、原子力事故による損害に対して、迅速かつ適切な賠償を進めてまいります。
- 今後も、被害者の方々へきめ細やかな賠償を実施するため、体制の整備、対応の改善を図ってまいります。

補償相談センター



- 賠償に関する説明会・ご相談対応、ご請求書の作成支援、受付などを実施しております。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年に引き続きリモートによるご相談も実施しております。（一部窓口で試験実施中）

補償相談コールセンター



- 賠償に関するお問い合わせ・ご相談対応などを実施しております。

10. 雇用創出等福島復興に資する取り組み

構築した事業会社を通じた世界最新鋭の石炭火力発電所の建設・運営

- 2016年10月、三菱商事パワー(株)、三菱重工業(株)、三菱電機(株)、常磐共同火力(株)と当社の5社にて「勿来IGCCパワー合同会社」※1と「広野IGCCパワー合同会社」※2による、発電所の建設・運営を実施する事業体制を構築しました。
- 同事業を通じ、建設工事・資材発注および運用後の定期点検などによる産業基盤の創出の推進に貢献いたします。

※1 5社が出資(勿来IGCCマネジメント(株)[途中名称変更]、三菱重工業(株)、三菱電機(株)、東京電力ホールディングス(株)、常磐共同火力(株))

※2 4社が出資(広野IGCCマネジメント(株)[途中名称変更]、三菱重工業(株)、三菱電機(株)、東京電力ホールディングス(株))



10. 雇用創出等福島復興に資する取り組み

中小経年水力発電所の設備改修

➤ 「新・総合特別事業計画」(2014年1月公表)に基づく福島県内の中小経年水力発電所の継続的設備改修を通じた福島復興に資する取り組みの状況は以下の通りとなります。

「金川発電所」

- 所在地：喜多方市塩川町
- 改修内容：発電設備の撤去・新設
- 最大出力：6,500kW ⇒ 7,100kW
- 工事着工：2017年 9月
- 運転開始：2019年10月

■ 県内雇用 6,246[人・日]
■ 資機材調達 約5,200[万円]



<既設の発電所建屋（工事なし）>



<改修後の発電機>

「日橋川発電所」

- 所在地：会津若松市河東町
- 改修内容：発電設備の撤去・新設
建屋の撤去・新設
- 最大出力：10,600kW ⇒ 11,000kW
- 工事着工：2016年 8月
- 運転開始：2021年 7月(全3台)

■ 県内雇用 16,965[人・日]
■ 資機材調達 約18,100[万円]



<改修後の発電所建屋>



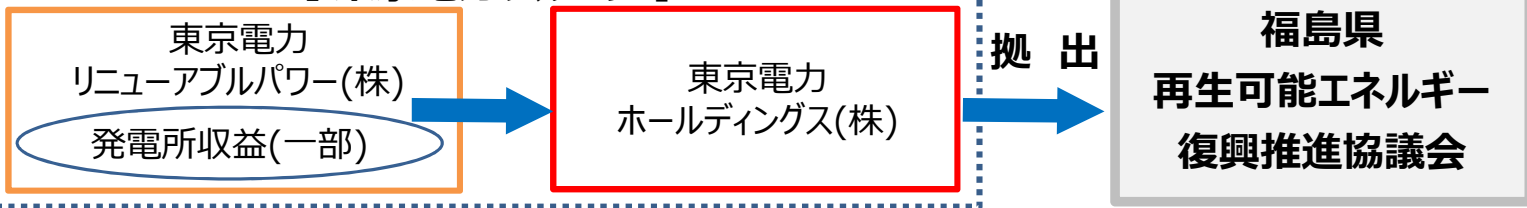
<改修後の水車>

10. 雇用創出等福島復興に資する取り組み

FIT制度適用に伴い得られた収益の一部拠出

- 改修後の発電所においてFIT制度(※1)適用に伴い得られた収益の一部を教育・医療等の分野で福島復興の取り組みにご活用いただくよう、拠出しています。
- 戸の口堰水系三発電所については、運転開始し、年間収益額が確定次第の拠出を予定しています。
 ※拠出実績：2021年度、金川発電所分として710万円、2022年度、日橋川発電所分を追加し1,810万円
 ※戸の口堰第一、第二、第三発電所の拠出金額・拠出先については未決定(2023年3月時点)

【東京電力グループ】



※1 再生可能エネルギーで発電した電気を電力会社が一定価格で一定期間買い取る制度

戸の口堰第一・第二・第三発電所の設備改修工事

- 2021年8月から着手していた戸の口堰第一・第二・第三発電所の設備改修工事のうち、第二発電所が2023年2月に、第三発電所が3月に運転開始となりました。第一発電所も8月に運転開始を予定しています。

※運転開始後の収益については、その一部を福島復興の取り組みにご活用いただくよう拠出いたします。

※今後も雇用機会の創出や県内事業者からの資機材調達に取り組んでまいります。

<戸の口堰第一発電所>
 ※工事中
 最大出力：1,490kW
 運転開始：2023年8月

<戸の口堰第二発電所>
 最大出力：630kW
 運転開始：2023年2月

<戸の口堰第三発電所>
 最大出力：940kW
 運転開始：2023年3月

■ 戸の口堰系発電所 設備改修工事の流れ

新総特	FIT申請	FIT認定	着工	運転開始	拠出
2014.1	第一発電所 2021.5 第二発電所 2021.8 第三発電所 2021.6	2022.3	2021.8	第一発電所 2023.8 予定 第二発電所 2023.2 第三発電所 2023.3	詳細検討中

11. 東京電力廃炉資料館

■ 設置の趣旨

発電所周辺地域をはじめとした福島県の皆さま、そして国内外の多くの皆さまが、福島第一原子力発電所事故の事実と廃炉事業の現状等をご確認いただける場として、「東京電力廃炉資料館」を当社施設である「旧エネルギー館（福島県双葉郡富岡町）」に設置いたしました。

■ 施設の概要

名称：東京電力廃炉資料館

所在地：福島県双葉郡富岡町中央三丁目58番地（旧エネルギー館）

開館：2018年11月30日

建物概要：【階層】2階建 【展示面積】約 1,900㎡

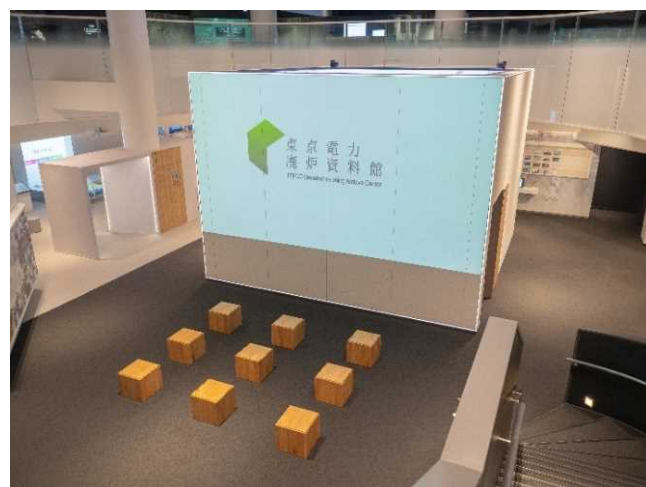
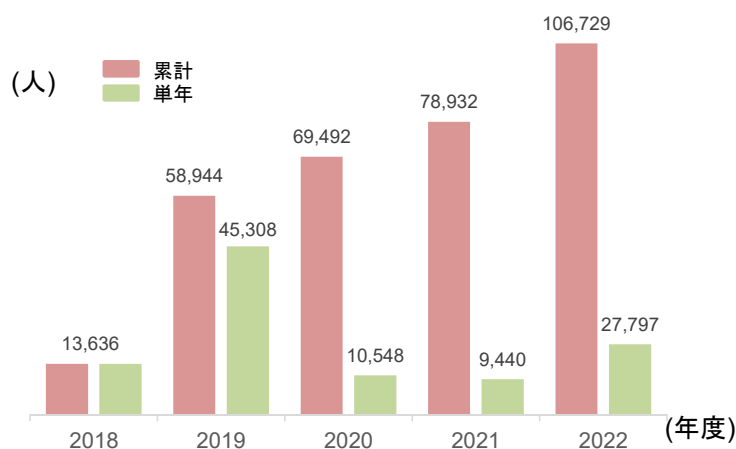
施設情報：【開館時間】9:30～16:30 【休館日】毎月第3日曜日・年末年始

【入館料】無料（駐車場無料）



東京電力廃炉資料館

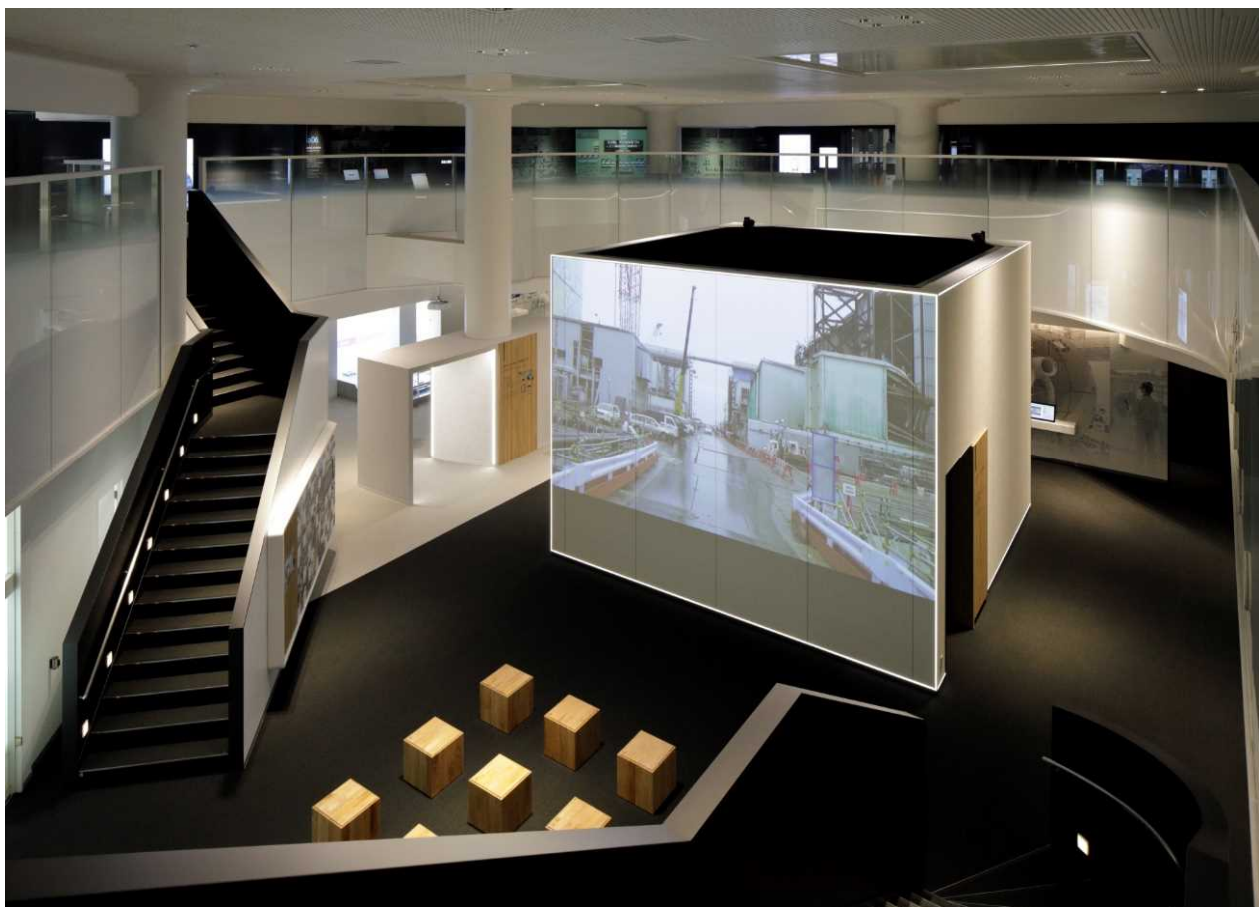
■ 年度別来館者数



- 2018年11月30日に開館しました東京電力廃炉資料館は、2023年1月に来場者が10万人に到達しました。
- 今後も、福島第一原子力発電所事故の記憶と記録、反省と教訓、そして廃炉事業の現状などをわかりやすくお伝えすることで、復興に向けた皆さまの安心につながるよう努めてまいります。

11. 東京電力廃炉資料館

■ 施設の内観



■ <シアターホール>

■ <記憶と記録・反省と教訓>

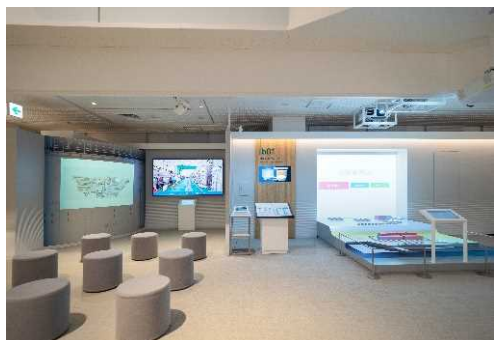
原子力事故を振り返り、その反省と教訓をお伝えしています



■ <廃炉現場の姿>

廃炉事業の全容と最新の現場の状況を展示

福島復興への取り組み、原子力や放射線等の情報をご覧ください



12. 福島復興へ向けた活動実績

< 除染等推進活動・環境再生活動 >



これまでの実績 (2023年3月末時点)

※ 福島復興本社設立 (2013年1月) 以降の実績

項目	内容	対応人数実績
除染 (国直轄・市町村) への対応	除染作業現場における工事管理業務等への対応、除染後のフォローアップ業務への対応等	約253,500人
中間貯蔵への対応	輸送への対応、除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入に関わる業務への技術的支援等	約167,100人
廃棄物・リサイクル等への対応	廃棄物・リサイクル処理の推進への人的・技術的支援等	約31,600人
環境回復・コミュニケーションへの対応	放射線不安の低減に向けたモニタリングへの対応、農林業再開に向けた測定・分析支援等の技術サポート等	約38,500人
その他	技術開発関連、除染に係る検討・提案等	約40,900人
合計		約531,600人

至近1年 (2022年度) の実績 (2023年3月末時点)

項目	内容	対応人数実績
除染 (国直轄・市町村) への対応	除染作業現場における工事管理業務等への対応、除染後のフォローアップ業務への対応等	約14,900人
中間貯蔵への対応	輸送への対応、除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入に関わる業務への技術的支援等	約14,000人
廃棄物・リサイクル等への対応	廃棄物・リサイクル処理の推進への人的・技術的支援等	約5,500人
環境回復・コミュニケーションへの対応	放射線不安の低減に向けたモニタリングへの対応、農林業再開に向けた測定・分析支援等の技術サポート等	約5,000人
合計		約39,400人

12. 福島復興へ向けた活動実績

<復興推進活動>



これまでの実績（2023年3月末時点）

※ 福島復興本社設立（2013年1月）以降の実績

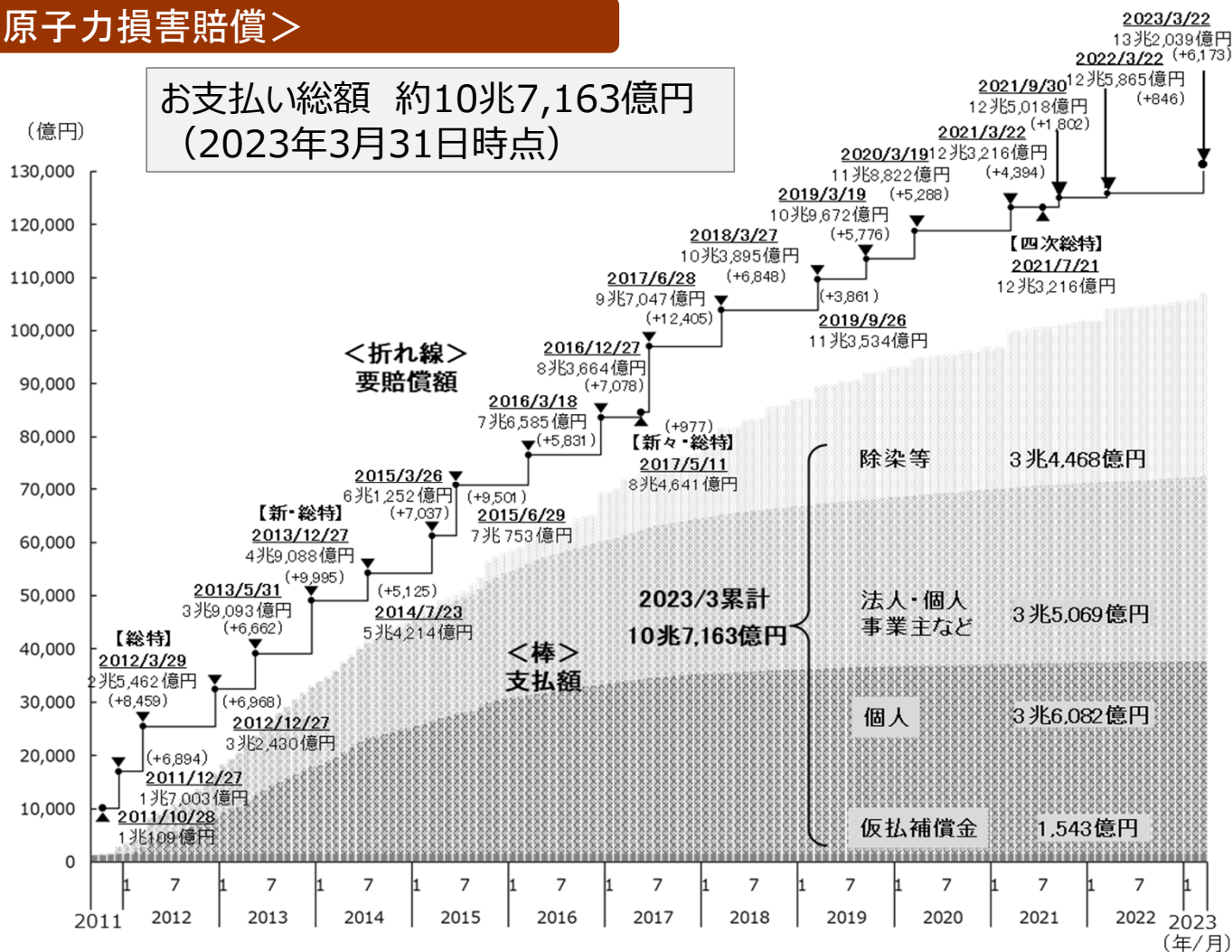
項目	内容	対応人数実績
除草作業	住宅等への進入路・墓地・公共施設等の除草	約222,500人
清掃・片付け	住宅・公共施設等の清掃・片付け	約136,100人
イベント	イベント対応等	約21,300人
一時帰宅対応等	一時帰宅対応、住民スクリーニング、測定対応等	約111,900人
営農再開等に向けた対応	さつまいも栽培支援、ワイン用葡萄圃場支援、電気柵設置等	約27,400人
その他	お声掛け・訪問活動 等	約50,800人
合計		約570,000人

至近1年（2022年度）の実績（2023年3月末時点）

項目	内容	対応人数実績
除草作業	住宅等への進入路・墓地・公共施設等の除草	約7,700人
清掃・片付け	住宅・公共施設等の清掃・片付け	約1,800人
イベント	イベント対応等	約1,400人
一時帰宅対応等	一時帰宅対応、住民スクリーニング、測定対応等	約3,900人
営農再開等に向けた対応	さつまいも栽培支援、ワイン用葡萄圃場支援、電気柵設置等	約2,000人
その他	お声掛け・訪問活動 等	約2,400人
合計		約19,200人

12. 福島復興へ向けた活動実績

<原子力損害賠償>



<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 (精神的損害・就労不能に伴う損害・検査費用・避難、帰宅、一時立入費用・生命、身体的損害等)	9月:法人本賠償 (営業損害・出荷制限指示等による損害・風評被害・間接損害等)
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償、家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償、仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償、自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	
2023年	3月:中間指針第五次追補決定等を踏まえた精神的損害等に対する追加の賠償	

(参考) 福島復興へ向けた取り組み “アーカイブページ” のご案内

- 過去の代表定例会見でお知らせした内容は、当社ホームページ内にある“福島復興本社専用ページ”からご覧いただけます。

① インターネットから下記キーワードで検索

東京電力 福島復興への責任



② 福島復興本社のホームページからご覧いただく項目を選択



③アーカイブ(環境再生・復興推進)※

④福島復興本社 代表定例会見 公表資料・動画

※流通促進活動の過去公表事例は、各公表資料をご確認ください

動画でみる福島復興の取り組み



福島県産品の美味しさ・魅力をお伝えします



⑤福島県産品の
流通促進に向けた取り組み
(イベント情報・県産品の魅力発信)

(参考) 福島復興へ向けた取り組み “アーカイブページ” のご案内

③ アーカイブ：復興本社設立以降の活動を年ごとに整理されたページで確認

④ 公表資料・動画：代表定例会見の過去の公表資料・会見の様子を確認

⑤ 福島県産品の流通促進に向けた取り組み：最新のイベント等を確認

Event&Topics

開催案内	2023年4月7日～9日	柏安本店 小田急町田橋肉店、小田急百貨店ふじさわ橋肉店にて「福島キフェア」開催
開催案内	2023年4月6日～7日	ニュー・クイック小田急新宿店にて「福島牛即売会 福栄」開催
開催案内	2023年4月1日～30日	駅ナカマルシェ出店スケジュール
開催案内	2023年4月8日～27日	キッチンカー出店スケジュール

LINEで“ふくしまの魅力”をお届けします。
 友だち登録はこちらから! ふくしま応援隊 LINE公式アカウント ID:@glw2362m

本写真集の一部をインターネット上に掲載するなど、他の媒体に転載することは、当社の著作権の侵害になるとともに、被写体の肖像権（人格権）の侵害となるおそれがあります。ご使用になる際は、当社へご相談下さい。